

活動報告

日付：2023年5月28日

活動：チェンマイ県チェンダオ村のアカ族の民芸品を手縫いで製作する女性グループ支援事業

当法人の一つの活動として、貧しいアカ族の女性たちの収入向上と女性グループの組織力の向上を目指してきたが、メーチャンタイ村では、女性たちは農業に忙しく民芸品を作成する時間がないということで断念した。それに代わり、5月28日にタイにおける山岳民族協議会の教育文化局（IMPECT）の推薦と支援で、チェンマイ県のチェンダオ村を訪問し、女性グループのアカ族の伝統的な民芸品作成の現場を視察し、生産や販売に関して意見交換する機会をえた。チェンダオ村はメーチャンタイ村の西へ50キロぐらい離れた場所に位置し、直線距離としては近いが、険しい山に阻まれ、チェンマイから別のルートで北上しないとたどり着けない。チェンマイの空港から車で2時間くらいかかる。村の収入の殆どは農業生産による。特に陸稲やトウモロコシ、ピーナッツ、それに果物（マンゴーやロンガンなど）が主体で、収入は低く生活は貧しい。それ故、女性たちによる民芸品の作成からの副収入が家計に大きなウエイトを占める。

しかしながらコロナ禍のせいで民芸品の販売がダメージを受け、女性たちの収入は過去3年近く半減した。新たな民芸品の販売ルートや外部からの支援を模索している時に、IMPECTの紹介で当法人と出会った。

GIAPSAとしては、女性グループから民芸品を定期的に注文し、買い取り、バンコクのメーチャンタイコーヒー店で販売したり、日本を含む海外への販売の手助けをすることでこの女性グループの支援につなげる事を目指す。また、女性グループの組織力を強化することで、持続可能なビジネスモデルの確立を支援する方針である。将来的には、この村をスタディツアーの対象とし、村全体の収入の改善に寄与することを考慮する。

訪問後の2023年7月初旬の時点で、約150点の民芸品を購入し、その大半はバンコクのコーヒー店や日本へ販売された。



